



もとみや

議会だより

第83号

令和7年4月30日発行

1月臨時会
3月定例会



市議会のHPからもご覧いただけます！

目次

- 予算概要P2
- 議案審査P3
- 予算審査質疑P4、5
- 総括質疑P6～8
- 常任委員会審査P9
- 討論、議決結果P10～12
- 一般質問P13～19

令和7年度予算

一般会計
予算額

歳入歳出 **167億3,550万円**

昨年度より7億4,120万円の増

※R7.4.1の住民基本台帳人口 29,576人

予算編成方針

これまでの市政運営にあたっては人口対策を最重要課題と捉え、人口の減らないまちづくりに取り組んでいるが、今後も効果的な事業の展開により、移住・定住及び安心して子どもを産み育てやすい環境の整備と健康長寿の安全・安心な社会の実現を図っていくことが必要である。そのためには、本市の特性やこれまでの経験を活かしたオンラインワンのまちづくりと、市内外への魅力の発信が大変重要である。令和7年度においては、予算編成スローガンを「魅力発信オンラインワンのもとみや」と定め、人口の減らないまちを目指し、事業効果の検証を行いながら、見直しも含め効果的・効率的な事業の構築を図り、第2次総合計画と財政運営計画のもと行財政改革に取り組みとしています。

各会計予算額

一般会計	167億	3,550万円
国民健康保険特別会計	27億	4,105万円
後期高齢者医療特別会計	3億	5,950万円
介護保険特別会計	27億	268万円
工業用地造成事業特別会計	1億	2,750万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億	1,328万円
水道事業会計	16億	298万円
公共下水道事業会計	14億	3,932万円
総計	258億	2,181万円

民生費	47億7,005万円	市民一人当たり 161,281円	子ども・高齢者福祉に
総務費	29億4,511万円	市民一人当たり 99,578円	職員給与や定住対策に
教育費	23億6,779万円	市民一人当たり 80,058円	学校教育や国際交流に
公債費	17億1,438万円	市民一人当たり 57,965円	借入金返済に
土木費	16億2,837万円	市民一人当たり 55,057円	道路整備・駅前整備に
衛生費	15億7,219万円	市民一人当たり 53,158円	健康増進や環境整備に
消防費	7億2,234万円	市民一人当たり 24,423円	消防・防災対策に
商工費	3億4,342万円	市民一人当たり 11,611円	商工業・観光振興に
農林水産業費	4億825万円	市民一人当たり 13,803円	農林業の振興に
議会費	1億8,473万円	市民一人当たり 6,246円	議員報酬・議会運営に
その他(労働費等)	7,887万円	市民一人当たり 2,667円	
全体	167億3,550万円	市民一人当たり 565,847円	

議案第25号 本宮市一般会計補正予算(第8号) 合計 3,897万7千円の減

本議案では、令和6年度の各事業の推進及び、決算見込みによる増減を計上し、歳入歳出それぞれの予算の補正を行っています。補正予算の主な内容は以下の表のとおりです。 ※一部抜粋

補正予算の主な内容		補正額
歳出	財政調整基金積立金	4億6,910万円
	直営診療施設勘定繰出金	2,000万円
	ため池監視装置設置工事	1,900万円
	消耗品費 (中学校振興教材整備事業)	1,861万円
	介護給付費繰出金	1,000万円
	長期債利子	820万円
	ふるさとともみや応援基金積立金	643万円
	県営ため池等整備事業負担金	240万円
	本宮堆肥センター堆肥舎 LED改修工事	235万円
	地方創成臨時交付金国庫補助金 過年度精算金	185万円
歳入	普通交付税	1億6,611万円
	地方消費税交付金(社会保障財源分)	4,436万円
	地方消費税交付金(一般財源分)	2,530万円
	ふるさとともみや応援基金繰入金	2,351万円
	現年課税分	2,000万円
	後期高齢者医療給付費負担金 過年度精算金	2,108万円
	ため池緊急防災環境整備事業補助金	1,900万円
	地方特例交付金	897万円

議案第21号

本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

消防団員のサラリーマン化が進み団員確保に困難が生じているため、退職消防団員や消防吏員を対象に、主に火災や大規模災害のみに服務する「機能別消防団員」制度の導入に必要な条例改正案が提出されました。



一般会計 歳入内訳

区 分	予 算 額
自主財源	82億6,900万円
市 税	51億6,223万円
使用料及び手数料	1億4,629万円
繰 入 金	11億5,406万円
繰 越 金	3億0,000万円
諸 収 入	2億5,842万円
寄 付 金	11億0,002万円
その他(分担金等)	1億4,798万円
依存財源	84億6,650万円
地 方 譲 与 税	1億9,520万円
地 方 交 付 税	34億5,773万円
国 庫 支 出 金	19億5,438万円
県 支 出 金	14億4,073万円
市 債	4億2,460万円
各 種 交 付 金 等	9億9,386万円
歳 入 総 額	167億3,550万円



令和7年度予算については「広報もとみや4月号P.4」にも掲載されています。

総務費

問 令和9年に向けた本宮市誕生20周年記念事業についてロードマップが必要と思うが現時点での考えは。

答 令和9年1月1日に記念日を迎え、式典を4月以降と現時点では考えている。来年度は1年間かけ事業内容、スケジュール等検討していく。

問 先進地視察など大規模な事業だが目的は記念事業、団体企業、市民、準備委員会の設置などどのようなものを想定しているのか。

答 庁内での検討をどのように進めていくかもこれから検討。若手職員やその他意見を聞きながら検討を進めていく。例えばロゴの公募とロゴを使用した広告PR、市のイベントで記念事業としての冠付けなどこれから検討していくがまとまったら説明しながら進めたい。

総務費

問 本宮市しらすわ地域魅力発信事業で地域おこし協力隊の給与等の募集内容は。他市町村と比較してどうなのか。しらすわファンクラブの情報発信体制は。

答 大卒程度の会計年度任用職員の給与表を利用している。他市についても多い状況。しらすわファンクラブのXについては白沢総合支所でそれぞれ職員が話し合いながら行っている。

問 人材の募集について、活動内容や年齢制限、移住に特化した方がなるのか、白沢地区に住んでいる方がなるのか。現時点での考えは。

答 首都圏から移住されてきた方で白沢地区に住居を構えてという方を考えている。募集の方法は地域おこし協力隊のチャンネルがあるためそこからということになる。活動内容についてはより人に寄り添ったもの、人に密着するものや地域団体に寄り添ってこんな活動をやっている、という内容を発信していければと考えている。今までの状況を見ると年齢層は30代までの方が多く活躍しているような状況である。人数については1名を予定している。



今までの状況を見ると年齢層は30代までの方が多く活躍しているような状況である。人数については1名を予定している。

総務費

問 太田熱海病院代替交通タクシーについて今後の市の考え方は。

答 実際に利用している方々に全戸訪問し事情を説明している。本年9月終了の予定に変更はないが個別に事情を聞きながら丁寧に対応する。



総務費

問 行政区交付金についてコロナ禍が解消され活発になってきたと感じているが考え方は。

答 令和6、7年で考え方は同じ。アフターコロナで活動が活発になってきている。さらに良いコミュニティの活性化に向けて継続したい。

農林水産業費

問 鳥獣被害対策実施隊員報酬の予算が増額されているが報酬を増額したのか。新規狩猟者確保対策補助金とあるがかなり手不足解消のための予算なのか。隊員の実情は。

答 昨年、一昨年までは17名だったが令和6年度は22名とかなり増えている。今後も隊員を確保するため、補助金を使っていたき進めていきたい。

土木費

問 兼谷平市営住宅の改修内容について、入居者への対応は。

答 長寿命化計画に基づき進めるもので鉄筋コンクリート造の4階建16戸のタイプの住宅。昭和53年建築で時間が経過している。浴室のユニット化や給湯設備、断熱改修、古い内装材の更新を検討している。現入居者については今後説明会を行い住み替えなどしながら空室を順次修繕していく予定。

消防費

問 組立パーテーションと簡易トイレの購入数は。また簡易トイレに手すりは。

答 パーテーション50セット、自動ラック式の簡易トイレ50セット、段ボールベッド150セット、避難所用組み立て給水タンク8基を予定している。手すりについては今後検討したい。



教育費

問 英国との交流事業についてステップアップする時期ではないかと思うが令和7年度の考え方は。

答 ケンシントン・チエルシー市特別区との友好協定の締結やプリンスウィリアムズパークの10周年、この積み重ねの上に、新たなフェーズ、例えば子どもでない分野、あるいは経済などの発展性を今後検討するものと考えている。

教育費

問 電子図書サービスの導入と図書予約システムの導入についてどのような形で図書を増設していくのか。

答 基本的には児童書等は紙の本をベースにするが様々な理由によって来館できない方へ提供したいということから始める。紙ベース、電子書籍双方のバランスをとりながら読書を推進していくため利用状況を鑑みながら調整していく。

渡辺 秀雄 委員 (創成会)

ふるさと納税応援基金について、このところ寄付金の額が伸びて大変喜ばしいことで、今後この状態が長く続いてほしいものだと思う。この寄付金の使い道、とあるサイトの調査では寄付先の自治体について寄付金の使い道を報告してほしいという回答が8割ほどであった。寄付金という流動性のある財源を、単年度または数年計画の市の課題などにさだめ活用すべきと思うが市の見解を問う。

国際交流事業について、令和7年度は英国との交流が10周年を迎えるということで記念行事等が計画されているが、本市に中長期滞在している方の数も国も大きくなってきた。また、近年インバウンドで多くの国から日本に訪れている。英国に特化した事業ばかりではなくあらゆる方向から交流の道をさぐり展開していく必要があると思うが市の見解を問う。

道路整備について、幹線道路、生活道路の整備の要望は多く、財源の確保等で時間がかかるのは理解できるが、10年、20年経っても動きが見られないという声も聞かれる。今般、本宮第二中学校前の市道碓森線の改良・設計委託が120メートル計画されているが、県道本宮熱海線までの整備が必要だと考える。工事は数年かかるとしても設計はまとめて基本設計、という形で最初発注して実施設計と、そういう段階を踏んだ方が地元住民も理解できるのかと考えるが設計・発注の方法について市の見解を問う。

高松 義行 市長

今までのふるさと納税の使い道は小中学校の給食費と公共交通、これに限り使っていた。ただ、恒久財源ではないという考えは委員と一致していたのではと思う。単年度で使い切れるものをやっていくという中で令和6年度ふるさと納税を使わせていただいた。中期的、短期的なスパンの中でできるものについて内部でもう一度検討し、寄付いただいた方の思いに添えていかなければならない。道路の補修というのもそうだが、今年度は単年度で終了するものに使わせていただく。令和7年度の課題としたい。発表の方法についてはホームページを通じてお知らせしたい。

国際交流事業については英国のウィリアム皇太子が来市いただいたことをきっかけに、国際交流という大きなチャンスをつかんでいかなければいけないという思いがあった。お互い交流をしていくということには何かをきっかけにしたストーリー性、物語が必要だと思っている。国際交流課自体は英国に特化しているわけではなく、本宮に在住している多国籍の方々にはわかりやすい日本語などをお伝えしている。国際化というものを目指して、理解していくための一つのステップとして英国との交流を中学生には捉えていただきたいと思っている。また、中学生との交流だけでなく、言ってみれば次の物語に移動していく必要性もあろうかと思っている。内部で案を考え、委員にもご指導いただきながら取り組んでいきたい。

道路の維持補修について、市民には満足という形にはなっていないというところは理解している。基本設計と発注の問題だが、この物価高騰時期にどういう予算を組んだらいいのかという問題も片方発生する。もう一度基本に振り返りながら今の厳しい財政のなかでどう対応できるか考えていきたい。

作田 博 委員 (無所属)

予算編成方針にもあったようにアメリカの政策動向によって日本経済にも影響があること、そのなかで一般会計予算が7億4,120万円の増、167億3,550万円の予算となっている。物価のさらなる上昇が予想されることから執行にあたっては大変なものがあると推測される。2019年から始まった本宮市第2次総合計画の10か年計画中、後期に入っている。実施計画については3年間の計画を毎年度策定するとうたわれている。その中で25年度において、分野3(経済・産業・仕事)のなかで本宮インターチェンジ付近の商業施設誘致に向けた環境整備について、以前より誘致のあったホテル等の立地に向けた現在の状況、見通しについて伺う。

分野4(生活環境・都市基盤)においてもインターチェンジ周辺のインフラ整備を進めるとあるが五百川駅周辺も入るのか。

駅前の宅地造成の計画があり、その中で県道大橋五百川停車場線の歩道の設置、拡幅といった事業があったが現在どのような状況にあるのか、今後市としてどのように対応していくのか伺う。



高松 義行 市長

インターチェンジ周辺の開発について、五百川駅周辺もインター周辺と捉えていることを前提としたい。まず、2社のビジネスホテル等の出店意向があるということについてはまだ変わるものではない。新しい年度に入ったらお互いの会社との情報交換をさせていただきたいと思っるところであるが、この物価高騰や能登の地震などで計画通りにはいかなくなってきたのではという予想、そのようなニュアンスの話もある。しかし、インターチェンジ周辺の開発については本宮市民のみならず多くの地域の方が利用できるものがあればベストではないかと思っっている。時代背景の中でここは粘り強く、根気強くやってみるのが正解ではないかと思っっている。道路整備については6年計画であと5年。ひとつ形が出てくるとまた違った形での土地利用が出てくるだろうと思っっているため、令和7年度もしっかりと企業の方々と話し合いを進めていき、他の企業とも意見交換等々しながらいろいろな方向性を探してみたいと考えている。駅前の宅地造成については民々の話だが用地買収の話はしていて額の提示をしながら地権者の方々と話をしていると報告を受けている。大橋五百川停車場線については県で描いているルートをそのままもう少しグレードアップしたなかで開発していくということと県と市、それから開発事業者との意見の方向性は一致したと報告を受けている。世界中が少しバタバタしている。そのような状況の中で日本の物価がどのようになっていくか、逆に円が盛り返してきた。チャンスを見極めて行動に移すという、そういう能力は持ち合わせていないが、有識者の意見も聞きながら取りを間違わないような形の中で積極的に進めていきたいと思っ。

玉川 実 委員 (誠和会)

出生率の向上に伴う施策について、令和7年度は市民とともに活力のある地域づくりを進め、スローガンに「魅力発信オンリーワンもとみや」を掲げている。今年度もよりよい市民サービスの向上に努めていただくことに期待する。特に分野別重点事業の子育て・教育分野での新規取組みについて保育所復職支援、幼稚園管理運営費は住みたいまちナンバーワンの本市にとって若い世代を取り込む原動力になると期待されている。しかし、令和5年度における自然人口動態は出生数174人に対して死亡者数376人となり202人の自然減。社会人口動態は転入者1,904人に対して転出者996人で109人の増となったが、トータルでマイナス93人となっている。令和3年度からの年度調査では令和3年度が110人減、令和4年度が76人減で微減状況ではあるが今後は自然人口動態がさらに減少すると予想されているため、できるだけ留めることの施策が重要となっている。このようなかで出生率を上げることが今後の命題と感じているがその方策について市長の意見を伺う。



高松 義行 市長

非常に大きな問題であると思っている。達成するには難しい。しかしながら目標をしっかりと掲げなければすくえらめてしまう。最後まで人口を減らさないということは二期目からの公約である。東日本大震災、水害の時にも大きな人口の減があった。災害があったために早めに3万人を切ってしまったというのは非常に悔しい。住みよきランキング県内一位ということで、全国で二桁に踏ん張っていることは委員の皆様や市民の方々がこの本宮を何とかしたいという思いが形になったものであり、どう発展させていくかということだと思う。ランキングの数値を見ていくと良いところも悪いところもなく平均してサービスを生むことができるが、全国で見ると半分以下であり、利便性は決して良くない。社会動態は増えているが自然減少も高齢化で増えてきている。生まれてくる子どもよりも小学校に入学する子どもの数が多い。170人生まれた本宮市に入学する子どもは270人という状況にある。これは県内でもあまり例のない事例である。子育て世代に特化するというよりも若いカップルや赤ちゃん、小中学校、高校、勤労者、そして年配の方すべてに同じレベルでのサービスを提供していく必要があるのではないかとと思う。十年ほど前では200人を超える子どもが本宮市で生まれていた。危機的状況だと思う。首都圏に勝る生活環境をどう作っていくか。バランスのとれた本宮を作っていくことが今後の戦いになると思っている。非常に重い課題だが逃げるわけにはいかない。今までそこに使わせていただいていたお金を何に使ったら効果が出るか、やはりこれをやらないと若い人達が住んで来ないんじゃないかという事業検証をしていくべきで、生産年齢人口の割合を増やすこと、県内で3位だと、ここを増やしていくことが当面の目標である。

総務文教

総務文教常任委員会には、本宮市職員定数条例の一部を改正する条例制定のほか、議案9件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

説明 保育士体制を増強し、現在の保育施設を最大限に活用するため、教育委員会の条例定数を現行の86人から93人へ7人増員するため、関連する条例の改正を行うもの。

問 条例定数の変更について保育士を7名増員した基準は何か。

答 定数変更の基準は、主任任をすべて正職員の保育士に任せることを前提に必要な人数を割り出した結果、7名の増員とした。

本宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

説明 市内公立小中学校及び保育所、幼稚園で健康診断等を行っている学校医、学校薬剤師等の報酬見直しのため、関連する条例の改正を行うもの。

問 県内13市と比較した際の本市の状況は。

答 本宮小学校の規模を基準とし、県内13市の算定方法を当てはめて報酬額を計算した場合、改正後は金額順で上から4番目となる。



生活福祉

本宮市手数料徴収条例及び本宮市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定のほか議案3件と陳情2件が付託されました。

本宮市手数料徴収条例及び本宮市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について

説明 市内公共施設に多機能端末機を設置し、コンビニ交付や窓口専用機等による証明書の交付手数料を100円減額する。

問 公共施設への端末導入や証明手数料減額の目的は。

答 自治体DX推進と行政の利便性向上、業務効率化につなげるため、手数料引き下げによりメリットを持たせ、多機能端末機による証明書取得率の向上を目指す。

本宮市重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例制定について

説明 医療の高度化に伴う、重度障がいの方々の負担軽減を図るため、本市独自の対応として、所得要件を廃止する。

問 条例改正により所得制限を廃止することで給付対象となる人数は。

答 昨年までの所得制限実績から約30人を見込んでいます。



産業建設

産業建設常任委員会には、請願1件及び本宮市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について他3件の議案が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について

説明 DV被害者を優先入居の対象とする。

問 DV被害者が入居した事例ととの対応は。

答 これまで2件の事例がある。入居者の選考は、住宅困窮度合いの点数付けを基に行うが、DV被害者はその際の判定が有利になる。当該対象者が入居を希望する場合、各担当部署と連携を図り入居までの支援をしている。

市道の認定工事中

説明 国事業の阿武隈川側帯盛土事業が完了したことから弁天・大貫線を含む5路線を改めて市道認定する。

問 弁天地区堤防完成後の管理主体は。

答 国の管理となるが、今後の利活用については市と協議の上、検討を進めたいとの意向をいただいている。

請願審査

請願第1号「和田四区の伐木に関する請願書」について、審査を行い、不採択と決定しました。

現地調査

市道久保入・西岩角線、市道大山・松沢線、平田石浄水場の現地調査を行いました。



▲市道久保入・西岩角線

討論

議案第16号

本宮市手数料徴収条例及び本宮市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について

反対

渡辺 忠夫 議員

今回の条例改正は戸籍謄本や住民票、印鑑証明などマイナンバーカード取得者が交付を受け際には料金が安くなるというもの。もともとマイナンバーカードを取得することは任意のものであったはずでありここにきて差別、選別することはおかしい。安くするのは住民等しく安くすることが当然ではないか。行政のデジタル化で政府は、行政に蓄積された膨大な個人と行政情報のオープンデータ化とその利活用による企業の利益獲得を成長戦略の柱としており、国、地方一体の公的サービスの歳入化が進行している。地方自治の本旨に反するものという意見もありデジタル化が人々に力を与えるものになるよう関心を持って対処するよう求める。

賛成

根本 利信 議員

今回の改正はコンビニ証明サービス、窓口申請端末機及び公共施設へ新たに導入するキオスク端末による証明サービスの手数料を一律に100円減額するものである。マイナンバーカードを活用することで窓口での本人確認や申請書の記入の負担なく証明を発行することができ市役所庁舎まで遠い方の負担軽減も見込まれる。また、円滑な移行を促す上でも該当機器を利用する交付手数料を100円減額する意義は大きい。証明サービスのさらなる利便推進により自治体DXの向上や窓口の混雑緩和によりお年寄りなどサポートが必要な方にはより丁寧に住民サービスを提供できることに加え、市役所業務の効率化や人件費のスリム化につながると期待している。

議案第33号

令和7年度本宮市一般会計予算

反対

渡辺 忠夫 議員

新年度の一般会計予算は前年度当初予算に比べ7億4,120万円多い。是とするものは是としていくつかの点について意見を述べる。子育て支援について、本市の出生数が過去最低を更新した。人口対策を最重要課題と捉え人口の減らないまちづくりに取り組むとしているが疑問に思う。幼稚園の弁当代と保育所の給食費については全額支援にするべきではないか。同時に保育士の正職員化を図りさらに待遇改善を求める。学校給食費も半額から60%支援になったが大玉村では新年度から全額負担するとしている。見習ってもよいのではないか。農業振興対策について、去年はコメ不足があり、政府の備蓄米の放出に至った。報道では来年の作付面積を拡大するとされているが本市では作付けを推進する施策になっていない。地域おこし協力隊の導入もしながらコメなどの生産、モノづくりに取り組む、そのことは地域の活性化につながるのではないか。国際交流事業について、英国に特化した国際交流で特別の数だけ派遣することは義務教育という観点から等しく公正に、を原則にすべきである。

賛成

磯松 俊彦 議員

令和7年度は本宮市第2次総合計画後期基本計画の2年目である。子育て・教育分野については新たに保育所給食費及び幼稚園配食弁当代の支援が盛り込まれ、子育て世帯への経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるものである。また、電子図書サービスを導入することで多忙な市民が図書に親しむ機会を得ることができる。保健福祉分野については65歳以上の方を対象にした帯状疱疹ワクチン定期接種や補聴器購入助成事業を実施することで高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくりが推進されると期待している。農林業分野ではため池に水位監視装置の導入を計画しており豪雨時の災害リスクの低減につながると考える。そのほか、新規就農者に対して市独自に上乗せ支援することで就農者の確保に努めることとしている。一部の施策に偏ることなく人口の減らない市を目標にサービスを提供する本案に賛成する。

令和7年1月臨時会 議決結果一覽表

市長提出議案2件 報告1件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和6年度本宮市一般会計補正予算(第7号)	省略	原案可決確定
議案第2号	令和6年度本宮市水道事業会計補正予算(第5号)	省略	原案可決確定
報告第1号	専決処分の報告について(専決第6号 白岩仮置場原状回復工事請負契約の一部を変更する契約について)	—	—

令和7年3月定例会 議決結果一覽表

市長提出議案39件 報告1件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第3号	教育委員会委員の任命について	省略	同意
議案第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	省略	同意
議案第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	省略	同意
議案第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	省略	同意
議案第7号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第8号	本宮市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第9号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第10号	本宮市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第11号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第12号	本宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第13号	本宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第14号	本宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第15号	本宮市国際交流活動に従事する外国青年の報酬等に関する条例及び本宮市英語指導を行う外国青年の報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第16号	本宮市手数料徴収条例及び本宮市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第17号	本宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第18号	本宮市重度心身障がい者医療の給付に関する条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第19号	本宮市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第20号	本宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	原案可決確定
議案第21号	本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第22号	市道路線の廃止について	産業建設	原案可決確定
議案第23号	市道路線の認定について	産業建設	原案可決確定
議案第24号	本宮市堆肥センター指定管理者の指定について	産業建設	原案可決確定
議案第25号	令和6年度本宮市一般会計補正予算(第8号)	省略	原案可決確定
議案第26号	令和6年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	省略	原案可決確定
議案第27号	令和6年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	省略	原案可決確定
議案第28号	令和6年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第4号)	省略	原案可決確定
議案第29号	令和6年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	省略	原案可決確定

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第30号	令和6年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計補正予算(第1号)	省 略	原案可決確定
議案第31号	令和6年度本宮市水道事業会計補正予算(第6号)	省 略	原案可決確定
議案第32号	令和6年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	省 略	原案可決確定
議案第33号	令和7年度本宮市一般会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第34号	令和7年度本宮市国民健康保険特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第35号	令和7年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第36号	令和7年度本宮市介護保険特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第37号	令和7年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第38号	令和7年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第39号	令和7年度本宮市水道事業会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第40号	令和7年度本宮市公共下水道事業会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第41号	白岩仮置場原状回復工事請負契約の一部を変更する契約について	省 略	原案可決確定
報告第2号	専決処分の報告について (専決第1号 和解及び損害賠償額の決定について)	-	-

請願1件 陳情3件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
請願第1号	和田四区の伐木に関する請願書	産業建設	不採択
陳情第1号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての陳情	生活福祉	採 択
陳情第2号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情	生活福祉	採 択
陳情第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	省 略	採 択

議員提出案件 5件

番 号	議 案 名	議決結果
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
発議第2号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書	原案可決確定
発議第3号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書	原案可決確定
-	閉会中継続調査申出書(議会運営委員会)	決 定
-	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決 定

3月定例会賛否一覧

下記以外の議案等は全会一致で可決されています。

会派名	誠和会						新風会					創成会				公	共	無所属			
議員名	石橋	菊田	磯松	玉川	渡辺	後藤	橋本	三瓶	斎藤	根本	田中	国分	渡辺	菅野	三瓶	馬場	川名	渡辺	伊藤	作田	
議案	今朝夫	広嗣	俊彦	実	富幸	友誉	善壽	裕司	雅彦	利信	美代子	秀好	秀雄	健治	幹夫	亨守	順子	忠夫	隆一	博	
議案第16号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長(橋本善壽)は採決には加わらない
 ※ 会派名の略称は次のとおり 公…本宮市議会公明党 共…日本共産党

市 政 を 問 う

一 般 質 問

Question

一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
後藤 友誉 (誠和会)	・部活動指導員の雇用形態は ・福祉バスの使用時間を拡大しては	14
磯松 俊彦 (誠和会)	・公共施設で産業、特産物の啓発は ・凍結危険箇所マップを作成しては	14
作田 博 (無所属)	・秋季例大祭の北町出店の復活は ・市営住宅の老朽化について	15
玉川 実 (誠和会)	・行政区の会員と非会員の構成率は ・本市における条例制定の考えは	15
根本 利信 (新風会)	・認定農業者育成事業実績と計画は ・遊歩道、展望台整備の考えは	16
田中美代子 (新風会)	・岳山ふれあいの森整備について ・一斗内・赤坂線の整備促進は	16
国分 秀好 (新風会)	・白沢地区防災訓練の実施成果は ・人口減少対策の考えはあるのか	17
菊田 広嗣 (誠和会)	・空き家バンクの活用状況は ・休み時間間食についての見解は	17
石橋今朝夫 (誠和会)	・投票率向上対策の考えは ・民生児童委員の人材確保の考えは	18
渡辺 忠夫 (日本共産党)	・農村地域おこし協力隊の導入を ・補聴器購入費助成制度について	18
川名 順子 (本宮市議会公明党)	・図書館サービスの充実は ・学校体育館にエアコンの設置は	19



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲東西自由通路東側入口のパンフレット棚

問 ①市民に身近な公共施設に本市産業、特産物についての啓発コーナーを設けることについて。
②産業振興政策について市民の方に認識を深めてもらう活動が必要では。
③より多くの方に見て頂く意味で本宮地区でも行事、企画が必要では。

答 ①東西自由通路の東側入口にパンフレット棚を置いてPR。啓発コーナーを別に設ける考えはない。②しらさわ秋祭りには産業祭も兼ねている。市内の企業が事業を周知できるのではないかと。③市内企業の意見等聞きながら今後調査したい。

問 ①本市道路の凍結危険箇所マップを市民生活の参考に作成し公開しては。
②軽トラックで走行しながら凍結防止剤を散布する方法について、台数増やし対策の効率化を図っては。
③伐木材の再利用に関する取り組みについて今後の考えは。

答 ①マップで確認できれば注意喚起になると認識。作成を今後検討したい。②この冬は13回ほど稼働している。現在の1台体制で、回数を増やせば間に合うのではと捉えている。③再利用は現在行っていない。これから調査研究したい。

その他の質問

- ・生産者、商工業者と市民の方の意見交換は
- ・伐木作業参加団体の安全対策と市の支援は



問 公共施設で産業、特産物の啓発は
答 東口のパンフレット棚でPR

磯松 俊彦
(誠和会)



問 ①部活動指導員の休日雇用で平日も指導のケースもあった。実情や希望を踏まえ、平日休日の雇用を増やすことは可能か。
②会計年度での5月から2月までの雇用期間を、3月も部活動はあるため、4月1日から1年通しの雇用期間にしては。

答 ①指導員の勤務形態は任用条件通知書で定められているが、学校と指導者間にて調整の上で、任用条件を変更することは可能。
②部活動は4月から3月まで通して行っている。令和7年度からは4月1日から3月までの1年雇用に変更したい。

問 研修事業時の福祉バスの使用について、日帰り9時から16時となっている時間が拡大されれば、行き先がかわり、他県にもいくことができ、参加者が増える可能性、行程において時間にも心にも余裕ができる。使用時間を拡大しては。

答 福祉バスの利用について、範囲は県内で、運転手1名に対して往復300キロ未満の範囲内で対応している。利用の範囲について、要綱を基本としつつ、福島県に隣接する地域への運行の相談は今後可能な限り対応していく。

その他の質問

- ・福寿会・新生会がなくなった行政区への対応は
- ・福寿会・新生会の単位会への補助金増額は



▲指導にあたる部活動指導員。部活動指導員の運営団体が必要



問 部活動指導員の雇用形態は
答 雇用形態は会計年度任用職員

後藤 友誉
(誠和会)



問 福祉バスの使用時間を拡大しては
答 今後可能な限り対応していく

問 ごみステーションの建設は町内会費で賄われており、徴収した金額が充当されており、管理はすべて当番制になっている。非入会者や一方的に町内会を退会し、ごみステーションを利用していくことが懸念される。行政区の会員数は。

答 昨年度データで全世帯数1万1517世帯に対し、加入世帯数は9667世帯となっており、市民部からの協力依頼が徹底されず、そうした反省や課題が現れた数字であり、今後働きかけを進めたい。

問 全国ではごみ屋敷やポイ捨て及び生活ごみに対して条例化による規制をし、違反者に対して罰則を規定している自治体が多くなっている。福島市は条例を可決されたが、本市も条例化を必要とした場合、制定をどのように考えるか。

答 現在のところ、規制に関する条例化は考えていない。市として、まずは行政区未加入者に対し、加入のメリットや必要性をしっかりと説明し、地域の良好な相互関係の中でモラルを育んでいけるような協力をお願いに努めたい。

その他の質問

- ごみ指定袋別の回収状況について
- 空き家対策について



▲みずきが丘ごみステーション



問 行政区の会員と非会員の構成率は
答 行政区加入率は83・9%である

玉川 実
(誠和会)



▲安達太良神社の膝元

問 安達太良神社の秋季例大祭時の北町への出店復活についてお伺いします。安達太良神社のお膝元でありながら出店の一軒もないという、非常に寂しい。阿武隈川の堤防や館ノ越・関根線をバイパス的な役割を果たし、知恵を出し復活を願う。

答 道路環境も変わり車の通行量も多くなっている。通行止めにした場合地元の方の駐車場の確保等、多々課題があるが、今回の提案を受けて秋祭り推進委員会や奉賛会、地元商店の方々を含め意見交換をしていきたいと考える。

問 高度成長時代に建てられた住宅で50年を過ぎ、老朽化している。瀬戸川住宅の今後は、また、立石住宅が取壊され、整地されているが、現在の進捗状況と、跡地利用についてお伺いします。

答 瀬戸川住宅については住宅の効力を最低限維持し小規模修繕のみを行っている。立石住宅は63戸中51戸解体済み。残り12戸で今年度、住み替えの説明を戸別訪問し行っている。跡地は民間事業者と協議を進めていく。



問 秋季例大祭の北町出店の復活は
答 意見交換をしてゆく

作田 博
(無所属)



問 市営住宅の老朽化について
答 立石の跡地は分譲等の活用を想定

その他の質問

- お祭り広場の確保について
- 遊休農地の対策と課題、学校給食とのコラボ



▲整備を待つ一斗内・赤坂線
(田島地区～五百田地内)

問 岳山ふれあいの森の整備により白沢地区の魅力を発信できるのではと地域より意見もある。昨年6月の定例会で質問した際に、新たな利活用を検討している。庁内若手職員によるワーキンググループでの整備構想の進捗状況は。

答 制限に縛られず、自由闊達なアイデアを盛り込んで昨年9月末にまとまった。その内容の実現可能性、施設のあり方、民間による整備、管理等、並行し調査研究している。具体的にしたら改めて意見を伺いたい。

問 長屋・一斗内地内を起点とし稲沢・赤坂地内まで約3キロの路線で、稲沢・田島地内の連続カーブの改良工事は完了し現在は長屋・一斗内地内から桑原までの拡幅改良工事が着手されている。全線の整備完了には何年要するのか。

答 長屋工区完了後の交通量の推移・地域の要望状況を検証し、市全体の道路整備計画で優先順位を決め検討。令和10年をもち改良計画を一旦休止し事業の効果検証を行い再開の時期を検討、一斗内・赤坂線は局部改良で実施していく。

その他の質問

- ・稲沢分館・松沢分館の駐車場整備について
- ・白沢地区小売店の振興について



問 岳山ふれあいの森整備について
答 現時点で示している状況ではない

田中美代子
(新風会)



問 認定農業者育成事業実績と計画は
答 令和7年度変更ないが8年度は休止

根本 利信
(新風会)



問 令和5年度実績は、認定農業者123名の内利用者実績20件で団体申請12件、個人申請8件でした。令和6年度当初予算948万円に対して実績としてどう使われたか。また、令和7年度の要綱、補助金等の見直しについての考えは。

答 今年度利用件数18件、総事業費8487万円、補助金1995万円見込み。延べ29台導入された。この補助要綱は平成27年から実施し10年が経過、令和7年度は前年同額予算で見直し変更ないが令和8年度は中身を精査し検討のため休止。

問 へそのまち本宮、清らかに流れる阿武隈川、広がる本宮の市街地そして広大な安達太良山を一望でき、秋は東西にざる菊を観られる絶景スポット。高木の小高い丘に遊歩道と展望台を整備し現存する古民家を活用した新たな本宮の魅力発信は。

問 遊歩道、展望台整備の考えは
答 市としては考えていない

答 遊歩道、展望台の設置については市としては考えていない。意見として賜らせていただきたい。

その他の質問

- ・ざる菊取り組みを考えサポートし魅力発信は
- ・移住・定住モデルとして定住市営住宅の考えは



▲へそのまちもとみや魅力発信

問 空き家バンクの登録状況をチェックしているが、2月末時点で登録状況が4件という状況だった。これはかなり少ないと思っているが、状況をどのようにとらえているのか、またその改善策は。



問 空き家バンクの活用状況は
答 率先して登録を推進していきたい

菊田 広嗣
(誠和会)



答 ダイレクトメールや広報、SNS等を活用することで、多くの方に放置空き家にならない意識を持っていただくよう継続して啓蒙、啓発していきたい。また、本宮市空き家コーディネーターと連携し率先して登録を推進していく。

問 休み時間間食は食事と食事との栄養補給を目的として、集中力を維持し学習効果を高めるために設けられている。子育て世代とお話すると「必要である」や「あってもいい」という反応が返ってくる。休み時間間食についての見解は。

問 休み時間間食についての見解は
答 導入は考えていない

答 学校における間食については情報収集を行っているが、集中力を維持し学習効果を高めるという見解も見受けられる。機会を捉えて調査していくことも検討していきたいとは思いますが、現在、市内の公立学校においての導入は考えていない。

その他の質問

- 午前5コマ授業についての見解は
- 検証に際して事業効果ベースで見えていく事業は



▲三時限目頃には空腹で集中力が切れてくる、休み時間間食の導入を



▲糠沢地区防災訓練実施模様

問 ①令和6年度白沢6地区で開催された防災避難訓練に参加された人数と6地区で実施した目的は。今回の防災訓練を実施してよかった点・改善すべき点は何か。②実際の災害時に現在どのような手段で、気象、防災情報を市民に伝達しているのか。

答 ①住民参加型の避難訓練を実施し、延べ562名が参加。地域の共助体制の強化を図る目的で、有事に備え家族と話し合うきっかけができた。世代をもっと広げて多くの方が参加できる訓練にしていく。②防災行政無線等を活用している。

問 本市における人口統計データはどのように推移しているのか。白沢地区の減少が多いが原因と、今後減らさない施策等はあるのか。定住促進で和暮和喜の今後の利用としらさわファンの魅力発信はどのように考えているのか。

答 人口推移は過去5年間で680人減少している。若者の就職等による転出が多い状況。春ツアーの開催や首都圏のイベントに合わせた魅力発信とファンクラブの会員募集、そして地域おこし協力隊を導入しこれらの取り組みを展開していく。



問 白沢地区防災訓練の実施成果は
答 住民が継続的な防災訓練に前向き

国分 秀好
(新風会)



問 人口減少対策の考えはあるのか
答 魅力発信事業を展開していく

答 人口推移は過去5年間で680人減少している。若者の就職等による転出が多い状況。春ツアーの開催や首都圏のイベントに合わせた魅力発信とファンクラブの会員募集、そして地域おこし協力隊を導入しこれらの取り組みを展開していく。



▲早めの検査が望まれます

問 農業の高齢化で農家の減少が進んでいる。特に白沢地区での耕作していない農地が多くあるように思われる。農業振興に特化したというか地域おこしを指して農村地域活性化のために地域おこし協力隊の導入をすべしと思うが何う。

答 議員おただしの通り新年度より白沢総合支所におきまして地域おこし協力隊の活用を予定している。ただ農業部門においては現時点では地域おこし協力隊の活用は予定はない。今回支所での活動を見ながら引き続き調査検討していきたい。

問 令和7年度の事業で実施するというところであり、内容について何う。高齢者にはうれしいお便り、気軽に測れる市の検診などできないか考えを何う。

答 以前から質問いただいていた加齢性難聴への補聴器購入費の助成制度で、包括支援センターや社協の方に高齢者の方から必要だ、ぜひやっていただきたい、との要望があり予算化をした。医療機関の医師の意見書をつけて申請して頂く予定である。

その他の質問

- 国の新年度予算案について市の認識を何う
- 学校給食費の無償化について



問 農村地域おこし協力隊の導入を
答 農業部門には現時点で考えていない

渡辺 忠夫
(日本共産党)



問 一票の積み重ねで社会は変えられる。投票は政治の意思決定にかかわる行動であり選挙に意義を見いだせないなどの有権者に対して、一票の重要性を改めて認識してもらう取組と、参議院選に向けた本市としての投票率向上対策の考えは。

答 選挙に関心がないままには意義を見いだせず棄権する有権者が増えることは、民主主義の健全な運営に大きな懸念材料と考えている。参議院選に向け選挙に関心を持ってもらい、有権者が気軽に投票できるように今後検討を進めていく。

問 民生児童委員の高齢化や業務負担の拡大で委員の担い手不足も進んでいるように、人材の確保や育成は喫緊の課題だといわれ、国や自治体では委員の処遇改善などを進め、単身世帯を支える人材の確保に対して本市の考えは。

答 住民の相談に応じ、一人暮らし高齢者の見守りを行う民生児童委員の活動は大変重要である。委員の確保については世帯の多いみずきが丘と高木地区は2名増員の要望を、国に申し出ている状況で、委員の確保に向け改善を図っていく。

その他の質問

- 子供の視力を守る取り組みは
- 太陽光パネルの下での適切な営農について



問 投票率向上対策の考えは
答 参議院選に向け検討を進めていく

石橋今朝夫
(誠和会)



あなたの背中を見て、将来子どもたちも投票へ
～子どもと一緒に選挙にいこう～

現在

子どものころはお父さんと選挙にいったなあ。

大きくなったら私も選挙したいなあ。

一緒に投票所に入場できるのは、18歳未満の子もです。

子どもの日に親の投票についてったことのある人・ない人の投票率の比較

63.0%
20%以上高い!

41.8%

名前のグラフのとおり、親子連れ投票は子どもの投票の投票につながっています。

ある人 ない人

▲投票に関心が持てる取組みを



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。

人事

議案第3号 教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、全会一致で同意しました。

教育委員会委員(再任)

谷 明子 氏
(本宮字南町裡)

議案第4、5、6号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の任命について、全会一致で同意しました。

議案第4号

固定資産評価審査委員会委員(再任)

伊藤 クニ 氏
(本宮字南町裡)

議案第5号

固定資産評価審査委員会委員

遠藤 明男 氏
(青田字高日向)

議案第6号

固定資産評価審査委員会委員

平 幸一 氏
(和田字小館)



▲安心して勉学に励める環境になります

問 ①ブックカバーの表紙に企業名など掲載する雑誌スポンサー制度の導入は。②日本語以外を母語とする保護者に多言語サービスの実施は。③一年生に図書カードをプレゼントしては。④学校図書司書をせめて中学校区に一人配置しては。

答 ①地元企業情報を市民に提供できるメリットがあり取り扱い方法を確立する。②こども家庭センターあゆみと協力していく。③令和8年度小学校の給食費の無償化が始まる。その分を中学校に充て考えていく。④学校司書の確な人数は十分検討する。

問 猛暑から子どもを守る視点、災害発生時には、最寄りの学校体育館が避難所となる視点からも体育館のエアコン設置は重要なテーマである。冷暖房、空調の整備を加速させ、児童・生徒に加え避難者も安心して過ごせるようにすることが大切。

答 近年の夏場の高温化の状況から、児童・生徒の学習、生活の場であり災害時には避難所として活用される学校体育館へのエアコンの整備は必要である。総合体育館、白沢体育館の空調整備完了後順次中学校の体育館よりエアコン整備していく。



問 図書館サービスの充実は

答 読書は自己教育力を養うもの

問 学校体育館にエアコンの設置は

答 スピード感を持って工事にあたる

川名 順子
(本宮市議会公明党)



その他の質問

- ・個人住宅への防犯カメラ設置に助成の考えは

上尾市議会・本宮市議会合同議員研修会を開催しました

令和7年1月29日～
30日開催

講師：跡見学園女子大学 教授
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事
鍵屋 一氏
演題：自治体防災対策と議会・議員の役割



令和7年1月29日および30日の両日、上尾市議会・本宮市議会合同議員研修会を開催しました。初日の29日には、**鍵屋 一氏**を講師に迎え、「自治体防災対策と議会・議員の役割」について講演会を実施し、災害対応における自治体の備えや議会・議員の役割について、多くの学びを得ることができました。

また同日、白沢公民館の視察を行い、避難所としての機能や、公民館が地域防災拠点として果たす役割について理解を深めました。

2日目の30日には、上尾市議会の皆様へ向けた、市内の文化・教育施設である「本宮市歴史文化収蔵館」、「本宮市ふれあい美術館」および「しらさわ夢図書館」の視察を実施し、地域の歴史・文化・芸術・教育の振興に向けた取り組みや、施設の運営状況についての説明がありました。

今回の研修を通して、両市議会の連携をさらに強固なものとするとともに、得られた知識を今後の議会活動や地域づくりに活かしてまいります。



あとながき

トランプ氏による関税の嵐が世界中に吹き荒れています。先日も自動車に25%の関税を追加する旨の発表があり、日本経済に相当な影響が出るのが懸念されています。諸物価高騰等に苦しんでいる中、先行き不透明感が更に加速していく恐れがあります。そのような中、予算審査特別委員会が設置され、限られた予算で最大に効果が得られるよう、慎重な審査が行われ、令和7年度一般会計予算が原案通りの167億3,550万円で可決されました。予算を有効に使い、人口の減らないまちづくりの為に皆で頑張りましょう。
(渡辺富幸)

発行責任者

議長 橋本 善壽
広報広聴委員会

委員長 菊田 広嗣
副委員長 根本 利信
委員 後藤 友誉
委員 渡辺 富幸
委員 田中美代子
委員 磯松 俊彦
委員 馬場 亨守
委員 菅野 健治

次回**6月議会定例会**は**6月9日**に開会予定です。請願・陳情の締切は**5月28日(16時まで)**です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

発行

本宮市議会

編集

広報広聴委員会

〒

969

1192

福島県本宮市本宮字万世212

FAX TEL (0243) 24-5435
(0243) 34-5567